

【大阪府公共事業における】景観形成の目標設定シート

当初作成	日付	2023/6/9	修正	日付	
	段階	基本設計完了済、実施設計中		段階	
記入者	所属	モノレール建設事務所		担当者	辰上

事業概要								
事業名称	大阪モノレール延伸事業 瓜生堂駅（仮称）			工事種別	新築			
敷地概要	事業地の位置	東大阪市西岩田三丁目地内 外						
	用途地域	近隣商業地域／準工業地域		防火地域	防火地域・準防火地域			
	敷地面積	未確定	建蔽率	80%/60%	容積率	300%/200%		
	その他制限等	防火地域、準防火地域						
施設概要	事業種別	<input type="checkbox"/>	道路	<input type="checkbox"/>	河川	<input type="checkbox"/>	港湾	
		<input type="checkbox"/>	ため池・水路	<input type="checkbox"/>	ダム	<input type="checkbox"/>	砂防	
		<input type="checkbox"/>	公園緑地	<input checked="" type="checkbox"/>	公共建築物			
		<input checked="" type="checkbox"/>	その他	駅舎				
構造・規模	鉄骨造（土木建築構造物）、地上3階建て（2階コンコース階、3階ホーム階）、延べ面積：約2,800㎡（総床面積：約4,700㎡）							
担当部署	設計担当 工事担当	モノレール建設事務所／（インフラ外は大阪モノレール株式会社）						
	施設所管	モノレール建設事務所（完成後は八尾土木に引継ぎ）／（インフラ外は大阪モノレール株式会社）						

1. 事業地の景観形成に関する指針や基準を確認する

事業地の景観計画等	景観行政団体名	東大阪市
	景観計画名	東大阪市景観計画
	景観計画区域名	特になし
景観計画区域に規定された景観形成の方針や規制内容（※該当の景観計画を確認し、主な規制内容を記載してください）	建築物の概形	特になし
	高さの最高限度	特になし
	壁面位置	特になし
	色彩	外壁及び屋根等の基調となる色彩は著しく派手なものとしなす。
	その他	
『大阪府公共事業景観形成指針』における本事業に関連する内容の確認	確認状況	確認済み

2. 良好な景観形成に寄与した公共事業の事例を確認する

本事業の参考となる、良好な景観形成に寄与した公共事業の事例を確認（※他府県の事例でも良い）	事例とした施設名	大阪モノレール各駅
	（所在）	大阪府池田市～豊中市～吹田市～茨木市～摂津市～守口市～門真市

3. 事業地周辺の景観の特徴を確認する

事業地の立地特性や周辺のまちなみ・景観資源等の確認	
計画地周辺の地形上の特徴	平坦な市街地
計画地周辺の景観を構成する主要要素	道路構造物（近畿自動車道、大阪中央環状線） 鉄道施設（近鉄奈良線）
計画地周辺の景観を構成する特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪中央環状線の直上に駅が建設される。 ・近鉄奈良線が交差し、近鉄駅が複合的に建設される。 ・西側に近畿自動車道（高架）が並走する。 ・北東側に大型店舗が立地しているが高さはそれほど高くない。 ・その他、周辺には高層マンションなども立地。
道路（沿道）から計画地までの景観上の特徴	沿道である大阪中央環状線の直上に駅が建設される。
計画地周辺の照明等、夜間景観の特徴	店舗等が多いこともあり、夜間でも比較的明るい。
その他 ※地域の風土、歴史、文化等、景観形成に影響のある、地域の成り立ちに関する要素を記載	瓜生堂遺跡、西岩田遺跡、モノレール車両基地

事業地の周辺からの見え方の確認		
計画地を望む主な視点場	遠景	生駒山系から
	中景	車道上から、近鉄車両内から、モノレール車両内から
	近景	歩道上から
計画地の見え方	遠景	周囲の建築物や近鉄線及び道路施設と相まった風景
	中景	駅全体のフォルム、近鉄線との交差
	近景	<ul style="list-style-type: none"> ・駅にモノレール車両が包み込まれる風景 ・近畿自動車道を背景に駅を望むことができる

4. 事業地周辺の景観の特徴を確認する

施設の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
公共建築物	景観づくりの手本としての景観形成 周辺景観との調和、道路との一体的な景観形成、地域性を活かしたデザインなど、景観づくりの手本として良好な景観形成を行う。	行う <ul style="list-style-type: none"> ・大阪中央環状線の直上、かつ近畿自動車道に近接しており、さらに近鉄奈良線が交差することになるため、交通の安全性に配慮する。 ・外壁色彩は、グレー系のパネルをベースに、コンセプトカラーを取り入れることで存在感を高めつつ、周辺との調和をはかる。
	設備関係附帯物の外観配慮 建築物周辺の附帯物（高架水槽、ダクト類、エアコン室外機等）については、建築物との一体化や敷地の外から見えない位置への配置など、外観に配慮する。	配慮する <ul style="list-style-type: none"> ・コンコース階に設ける室外機置場は、フェンスで囲み、駅舎壁面と同色とする等、景観を損なわないよう配慮する。
	駐車場・ごみ置き場等の外観配慮 駐車場、駐輪場及びごみ置き場等を敷地の外から見える場所に設置する場合は、植栽により修景し、又は建築物等と一体化するなど、外観に配慮する。	配慮する <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ室とごみ置き場を駅舎の真下に設置するが、位置や外観について景観を損なうものとならないよう配置や色彩等について配慮する。
	適切な維持管理・耐震改修時の外観配慮 適切な維持管理を行い、外観を美しく保つとともに、耐震改修等の際にも、外観に配慮する。	配慮する 維持管理にあたり、排ガスによる汚れの付着や、通行車両等への対策を考慮する必要があるため、駅舎の形状や外壁の材質の選定に配慮する。

4-2. 共通指針のチェック		
※該当する構成要素の指針のみ記入してください		
構成要素の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
附属物	照明方法、夜間景観への配慮 照明施設は、周辺の状況に応じた照明方法等により、夜間景観が良好となるよう配慮するとともに、光による害が生じないように努める。※〔照明方法、夜間景観への配慮〕においては、色温度についても配慮すること。	敷地条件等により対応不可 駅舎に外壁面にはガラスが多用されるため、周囲の状況と相まっでの良好な夜間景観となるよう検討を行う。
	標識・サイン等 標識・サイン等は、掲出場所に留意し、分かりやすく、統一性のある質の高いデザインを採用したうえで、数や規模を必要最小限とするよう努める。	努める サインは、大阪モノレール株式会社の社内基準等に基づき整備されるが、コンセプトとして整理した観点も用いることができないか、大阪府から働きかける。
5. 計画地の景観上、最も重要なポイントを確認する ※1～3の確認結果を踏まえ、計画地の景観上、重要なポイントを記載してください		
<ul style="list-style-type: none"> ・近鉄線や近畿自動車道等の道路構造物との関係性を考慮する。 ・他駅と違い、フォルムが複雑となる。 		
6. 景観形成の目標（景観に関する考え方）を立てる ※1～5の確認結果を踏まえ、本事業における景観に関する考え方について記載してください		
No	内容	
1	東大阪市の意向を確認して、デザイン整理を進める。	
2	近鉄線や道路構造物との調和をはかる。また、駅のフォルムが他駅と異なることを特徴とできるよう検討する。	
3	コンセプトにおいて整理した内容をふまえ、外壁にはアクセントカラーを取り入れる。	
4	大阪中央環状線を通行する車両や連絡デッキの歩行者の視点に留意する。	
5	モノレールの既設区間からの連続性を踏襲することで、利用者の安心や利便性、利用促進につなげる。	

(必要に応じて、行は調整してください)